（データマネジメントプラン様式　別紙）

　 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　令和　年　月　日

課題管理番号：

データの第三者提供に係る変更承認申請書

国立研究開発法人日本医療研究開発機構

理事長　殿

（申請者）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 機関名 | ： |  |
| 所属 役職 | ： |  |
| 氏名 | ： |  |

　　　　　　　（公印不要）

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名プログラム名 |  |
| 研究開発課題名 |  |
| 研究開発代表者 | 所属 |  |
| 役職 |  |
| 氏名 |  |

委託研究開発契約書第28条（存続条項）で義務が存続する第12条の2に基づき、データマネジメントプラン（DMP）を添付の上申請します。

記

１．提供する研究開発データ、及び、データの提供先

|  |  |
| --- | --- |
| 提供する研究開発データ（DMPのデータ名） |  |
| 提供先の第三者、またはデータベース等※1 |  |

※1　提供先の名称及び所在地について具体的に記載すること

２．変更する日付※2：令和　年　月　日

※2 変更する日付が申請日以前となる申請書は、原則として認められない。

３．承認を受ける理由

以下の(1)～(4)の要件を満たしていることをチェックした上で、各要件の観点から具体的な理由を下記に記載する。

|  |  |
| --- | --- |
| □ | (1)　当該データの提供により、研究開発の成果が事業活動又は研究開発活動において効率的に活用される。すなわち、提供先は研究開発の成果を真に利用しようとするものである。 |
| □ | (2)　当該データの提供が、我が国の国際競争力の維持に支障を及ぼすこととなる研究開発の成果の国外流出に該当しない。 |
| □ | (3) 企業等の第三者にデータを提供・共有する際には、AMEDが定める「データ利用許諾契約書ひな型」※3に準拠した契約を締結する。 |
| □ | (4) 提供先の第三者のデータの利用目的が人間の尊厳及び人権を阻害する目的その他不適正な利用目的でないことを確認した。 |

※3 <https://www.amed.go.jp/content/000088095.docx>

具体的な理由※4

|  |
| --- |
|  |

※4 データ提供先の利用目的も記載ください。また、データを第三者に有償で提供する場合には、利用料等の算定根拠を「具体的な理由」欄に記載ください。

以上